

寂聴とインド

徳島県立文学書道館 文学特別展

2024年 4月9日(火) - 5月26日(日)

- [会場] 1階特別展示室 3階収蔵展示室
[休館日] 月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館し、翌日休館)
[開館時間] 9:30 ~ 17:00
[観覧料] 一般 520 (410) 円 高校・大学生 360 (290) 円 小・中学生 260 (200) 円

* ()内は20人以上の団体割引料金。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。
小・中・高校生は土・日・祝日は無料。

- [主催] 徳島県立文学書道館
[後援] 徳島新聞社・四国放送・NHK 徳島放送局



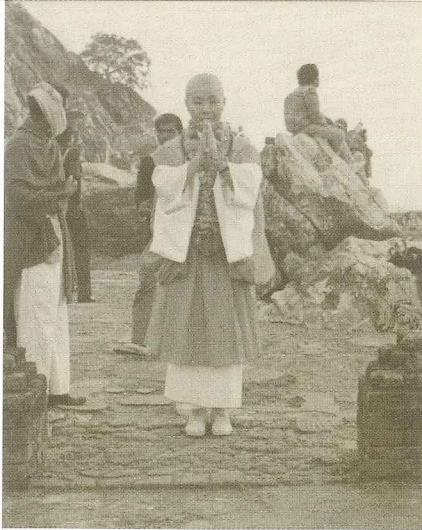
大地の記憶している二千五百年前の

もろもろの吐息を足の裏から伝え聞いている

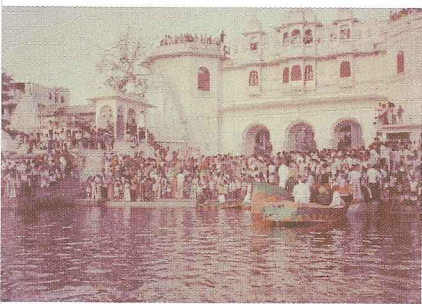
瀬戸内寂聴（1922-2021）は出家後、

20余年の間に8回インドを訪れました。釈迦の遍歴の跡や清濁入り交じる風景、文化の息吹、悠久の昔から変わることのない人間の苦悩と生の姿に触れ、そこから汲み上げたものをつづった文章を多く残しています。

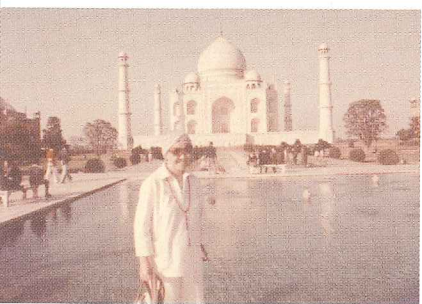
本展では、当時の写真や取材ノートをはじめ、寂聴がインド旅行で得たもの、その中から生まれた小説や随筆などを紹介。インドでの経験を踏まえ、寂聴が人間・釈迦を描いた小説『釈迦』誕生の過程も展示します。



霊鷲山



ウダイプル



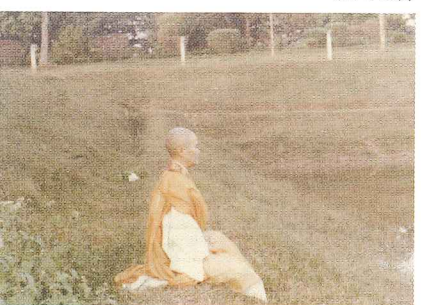
タージ・マハル



コルカタ（姉と）



ガンジス河



竹林精舎

関連イベント

講演会 「寂聴さんとのインドの旅」

講師：小出由美子（プロデューサー）
日時：4月21日（日）14:00～15:30
会場：1階ギャラリー
定員：150人（申込多数の場合は抽選）
※申込締切は4月3日（水）。参加無料

こいで・ゆみこ 1981年、NHKに入局し制作局に配属。文化福祉番組部などに所属し、「NHK人間大学源氏物語の女性たち」（1997年）「NHK人間講座 釈迦と女とこの世の苦」（2000年）「ETV2000 瀬戸内寂聴 インド・死をめぐる対話」（同）「瀬戸内寂聴の人生相談」（2001年～2002年）など多数の寂聴出演の番組制作に携わる。2000年の2つの番組のインドロケでは寂聴に同行した。2015年に退職後は、日本を紹介する国際放送番組のプロデューサー業務に従事。



講演会 「作家の眼を通して見たインド」

講師：石井遊佳（芥川賞作家）
日時：5月11日（土）14:00～15:30
会場：1階ギャラリー
定員：150人（申込多数の場合は抽選）
※申込締切は4月16日（火）。参加無料

いしい・ゆうか 東京大学大学院博士後期課程満期退学。中国仏教学専攻。2006年より夫の留学に随行し、北インド・ヴァーラーナシーに滞在。2015年より南インド・チェンナイにて夫とともに日本語教師として働く。2017年、チェンナイでの経験をもとに執筆した『百年泥』で第49回新潮新人賞を受賞。2018年、同作で第158回芥川賞を受賞。現在は日本で執筆に専念。著書に『百年泥』（新潮文庫）『象牛』（新潮社）がある。



<講演会の申込方法>

はがき・FAX・メールのいずれかにイベント名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

交通アクセス（JR 徳島駅から）

- 徒歩 約15分
JR 徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号を右折して約300m。徳島中学校東隣。
- バス
〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線（右回り）」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
〔徳島バス〕15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
- タクシー・自動車 約5分
国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。
- 駐車場
当館北側・南側にあります（62台、大型バス2台）。

